

	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	平成31年度・令和元年(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	
I. 協会事業						
1. 調査研究						
(1) 鉄筋継手に関する新技術及び改良技術の調査研究への積極的な取り組み						
1) 新しい鉄筋継手工法技術に関する調査研究を実施する。						
2) 各種鉄筋継手の品質・性能に関する調査研究を実施する。						
・ガス圧接継手		○アセチレンバーナーの性能に関する調査				
・溶接継手		○高強度鉄筋の溶接性に関する研究、○鉄筋のフレア溶接に関する研究				
・機械式継手		○機械式継手の品質性能に関する研究				
3) 各種鉄筋継手の検査技術に関する調査研究を実施する。		○ガス圧接継手の超音波探傷試験に関する研究				
4) 構造物の維持補修における鉄筋継手の施工・検査に関する調査研究を行う。						
(2) 鉄筋継手に関する標準仕様書・規格・基準等の制定・改訂						
1) 鉄筋継手工事標準仕様書を制定し、定期的に見直し、改訂する。						
・ガス圧接継手工事標準仕様書	}	○標準仕様書の改訂				
・溶接継手工事標準仕様書						
・機械式継手工事標準仕様書						
・高分子天然ガス圧接継手工事標準仕様書(案)		○標準仕様書(案)の改訂				
・水素エチレン混合ガス圧接継手工事標準仕様書(案)					○標準仕様書(案)の改訂	
2) 鉄筋継手工事に関する特記仕様書を制定し、見直し、改訂する。			○特記仕様書の改訂(圧接、溶接、機械式)			
3) 鉄筋継手に関する規格・基準等を随時制定し、見直し、改正する。						
・JRS 0008 A級継手性能評価基準の改正						
・JRS 0009～0011 A級継手の試験方法及び判定基準(ガス圧接継手、溶接継手、機械式継手)の改正						
4) 鉄筋継手に関する各種要領書類の標準化を行う。						
・ガス圧接継手施工要領書			○要領書の見直し			
・溶接継手施工要領書			○要領書の見直し			
・鉄筋継手部検査要領書			○要領書の見直し			
・鉄筋継手部外観検査マニュアル						
5) 鉄筋継手に関する規格・基準等のJIS化を提案し、制定原案を作成する。						
・JRS 0005 溶接継手部の超音波探傷試験方法及び判定基準のJIS化	}	JIS化スタート	}	JIS提案	}	JIS公示
・JRS 0003 機械式継手の鉄筋挿入継手長さの超音波測定方法及び判定基準のJIS化						
・JRS 0009～0011 A級継手の試験方法及び判定基準(ガス圧接継手、溶接継手、機械式継手)のJIS化						
6) 鉄筋継手の関する既存JISの定期見直しを行い、改正原案を作成する。						
・JIS Z 3881(ガス圧接技術検定)の改正			○JIS Z 3881の定期見直し			
・JIS Z 3120(ガス圧接継手の試験方法及び判定基準)の改正			○JIS Z 3120の定期見直し			
・JIS Z 3062(ガス圧接部の超音波探傷試験方法及び判定基準)の改正			○JIS Z 3062の定期見直し			
・JIS Z 3450(鉄筋の継手に関する品質要求事項)の改正				○JIS Z 3450の定期見直し		
・JIS Z 3882(突合せ溶接技術検定)の改正				○JIS Z 3882の定期見直し		
2. 普及展開						
(3) 鉄筋継手に関する標準仕様書・規格・基準等の普及・展開						
1) 標準仕様書改訂時に全国各地において講習会を実施する。						
・建築主事向け講習会	}	○鉄筋継手工事標準仕様書改訂講習会	}	○鉄筋継手工事標準仕様書改訂講習会	}	○鉄筋継手工事標準仕様書改訂講習会
・監理者向け講習会						
・施工管理者向け講習会						
・継手施工者向け講習会						
2) 国・行政への標準仕様書の採用を働きかける。						
・公共建築工事標準仕様書への展開	○公共建築工事標準仕様書への意見具申					
・公共住宅建設工事共通仕様書への展開	○公共住宅建設工事共通仕様書への意見具申					
・土木工事共通仕様書への展開	○土木工事共通仕様書への意見具申					
・東京都赤本(※1)への展開	○東京都赤本への意見具申	○東京都赤本への意見具申	○東京都赤本への意見具申	○東京都赤本への意見具申	○東京都赤本への意見具申	
3) 関係団体・企業へ標準仕様書・特記仕様書の採用を働きかける。						
・建築学会標準仕様書への展開						
・土木学会構造物標準示方書(鉄筋の定着・継手指針)への展開						
・設計事務所・コンサルへの展開						
4) 新技術に関する技術講習会をタイムリーに実施する。						
5) 普及展開のための技術資料を作成し、随時見直しを行う。						
・鉄筋継手技術紹介PPT						
・鉄筋継手紹介ビデオ		○鉄筋継手紹介ビデオの作成				
・各種パンフレット	○各種パンフレットの見直し		○各種パンフレットの見直し		○各種パンフレットの見直し	
・標準仕様書の協会HPでの公開						
(4) 鉄筋継手技術の海外展開						
1) わが国の鉄筋継手技術のISO規格化を関係団体と連携して推進する。						
2) 鉄筋継手工事標準仕様書(英文版)を作成し、アジア建設市場における普及・展開を図る。						
3. 教育・講習事業						
(5) 鉄筋継手に関する技量者・技術者の育成と継続教育						
1) 鉄筋継手の品質管理水準の維持向上を図るための継手管理技士講習会を継続的に実施する。						
2) ガス圧接技量者の技量水準の維持向上のためのガス圧接技術講習会を継続的に実施する。						
3) 鉄筋溶接技量者の技量水準の維持向上のための鉄筋溶接技術講習会を継続的に実施する。						
4) 機械式継手技能者の技能水準の維持向上のための機械式継手技術講習会を継続的に実施する。						
5) 鉄筋継手部検査技術者の技術水準の維持向上のための鉄筋継手部検査技術講習会を継続的に実施する。						
4. 要員認証事業						
(6) 鉄筋継手の品質確保のための各種資格者の認証・普及						
1) 継手管理技士資格者制度に基づき、継手管理技士の認証を行い、より一層の普及を図る。						
2) JIS Z 3881(鉄筋のガス圧接技術検定)に基づき、第三者認証機関としてガス圧接技量資格者の認証を行う。						
3) JIS Z 3882(鉄筋の突合せ溶接技術検定)に基づき、第三者認証機関として鉄筋溶接技量資格者の認証を行う。						
4) 機械式継手施工資格者制度に基づき、機械式継手主任技能者の認証を行い、より一層の普及を図る。						
5) 検査技術者資格者制度に基づき、第三者認証機関として、検査技術者技量資格者の認証を行う。						
6) 各種資格者制度について、定期的に見直しを行う。						
(7) 公平性、有効性、信頼性のある要員認証の継続的な実施						
1) 要員認証システムの維持・管理のため、内部監査を実施する。			○適合性評価		○適合性評価	
2) 外部監査による評価に基づき、JIS Q 17024:2012への自己適合宣言を行う。	○要員認証適合宣言		○要員認証適合宣言		○要員認証適合宣言	

	平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	平成31年度・令和元年(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)
5. 認定事業					
(8) 鉄筋継手に関する新しい機器・技術等の評価・認定					
1) 新しく開発された機器・技術等の評価・認定を実施する。					
2) すべての鉄筋継手の性能評価・認定(任意の評定)を実施する。					
3) 機器・技術等の評価・認定規定・基準について、定期的に見直しを行う。			○機械式継手の認定スキームの検討		
(9) 優良施工会社認定制度の普及・展開					
1) 優良施工会社の全国的な増加を図り、ユーザーへの周知を図る。					
・優良圧接会社認定制度	優良圧接会社 目標115社	優良圧接会社 目標120社	優良圧接会社 目標125社	優良圧接会社 目標120社	優良圧接会社 目標125社
・A級継手圧接施工会社認定制度	A級継手圧接施工会社 目標95社	A級継手圧接施工会社 目標100社	A級継手圧接施工会社 目標105社	A級継手圧接施工会社 目標100社	A級継手圧接施工会社 目標105社
・A級継手天然ガス圧接施工会社認定制度					
・A級継手高分子天然ガス圧接施工会社認定制度					
・優良鉄筋溶接会社認定制度	優良溶接会社 目標25社	優良溶接会社 目標30社	優良溶接会社 目標35社	優良溶接会社 目標30社	優良溶接会社 目標35社
・A級継手溶接施工会社認定制度	A級継手溶接施工会社 目標25社	A級継手溶接施工会社 目標30社	A級継手溶接施工会社 目標35社	A級継手溶接施工会社 目標30社	A級継手溶接施工会社 目標35社
・優良溶接せん断補強筋製造会社認定制度	せん断補強筋製造会社 目標50工場	せん断補強筋製造会社 目標50工場	せん断補強筋製造会社 目標50工場	せん断補強筋製造会社 目標50工場	せん断補強筋製造会社 目標50工場
2) 優良圧接会社・A級継手圧接施工会社、優良溶接会社・A級継手溶接施工会社、並びに優良溶接せん断補強筋製造会社 について、発注者・関係団体の工事仕様書への特記を働きかける。					
3) 優良総合継手施工会社の認定スキームの検討を行う。	○認定スキームの検討		○認定スキーム確定		
4) 優良施工会社の認定規定・基準について、定期的に見直しを行う。		○見直し(全体)			
(10) 第三者検査のための鉄筋継手検査会社認定制度の普及・展開					
1) 優良鉄筋継手部検査会社及び登録鉄筋継手部検査会社の全国的な増加を図り、ユーザーへの周知を図る。					
2) 優良鉄筋継手部検査会社、登録鉄筋継手部検査会社について、発注者、関係団体の工事仕様書への特記を働き	認定鉄筋継手部検査会社 目標55社	認定鉄筋継手部検査会社 目標60社	認定鉄筋継手部検査会社 目標65社	認定鉄筋継手部検査会社 目標60社	認定鉄筋継手部検査会社 目標65社
3) 将来的には優良鉄筋継手部検査会社と登録鉄筋継手部検査会社の一本化を図る。					
4) 鉄筋継手部検査会社の認定規定・基準について、定期的に見直しを行う。					
(11) 優良会社の普及促進					
1) 鉄筋継手の品質を維持・向上するために、優良会社の全国的な普及を図る。					
・優良圧接会社	○説明会	○説明会	○説明会	○説明会	○説明会
・優良A級継手溶接施工会社		○説明会	○説明会	○説明会	○説明会
・優良・登録鉄筋継手部検査会社					
6. 刊行物販売事業					
(12) 鉄筋継手に関する刊行物の販売促進					
1) 鉄筋継手工事標準仕様書・規格・基準等に関して、技量者・技術者からユーザーまでの幅広い活用を図る。					
2) 受験者等の学習に供するため、各種テキスト、問題集等を随時見直し、改訂を行う。					
II. 協会組織・運営					
1. 組織・運営					
(13) 会員の確保と関係団体との連携					
1) 会員外の鉄筋継手関係会社に対して、入会の勧誘促進を図る。	○会員勧誘		○会員勧誘		○会員勧誘
2) 技術交流会、講習会等への参加、共催・後援等を通じて関係団体との連携を強化する。					
3) 関係団体との意見交換会を定期的の実施する。	○全圧連 ○全鉄筋 ○日建連	○全圧連 ○全鉄筋 ○日建連	○全圧連 ○全鉄筋 ○日建連	○全圧連 ○全鉄筋 ○日建連	○全圧連 ○全鉄筋 ○日建連
(14) 健全な協会運営の推進					
1) 収支バランスのとれた事業活動を計画的に推進する。					
2) 本部及びつばは技術センターのオンラインを通じて、協会運営の効率化を図る。		○新システムの運用開始			
3) 協会支部と連携し、協会運営の推進を図る。	○支部会	○支部長会議	○支部会	○支部長会議	○支部会
4) 将来に向けた発展のために、協会記念事業を計画的に実施する。					
III. 理事会・総会					
・理事会・総会	○第55回定時総会	○第56回定時総会	○第57回定時総会	○第58回定時総会	○第59回定時総会
・定款・規則の改正					
・法人設立記念事業		○55周年記念事業実施の検討		○55周年記念事業	

※1: [建築基準法第12条第5項に基づく]建築工事施工計画等の報告と建築材料試験の実務手続き

日本鉄筋継手協会規格

NAKS 0001	1977	鉄筋ガス圧接部の超音波探傷基準
JRJS 0002	2009	ガス圧接継手性能判定基準
JRJS 0003	2017	機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準
JRJS 0004	2008	圧接用バーナの加熱雰囲気ガスの還元性評価方法(案)
JRJS 0005	2017	鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準
JRJS 0006	2017	A級継手性能基準
JRJS 0007	2017	A級継手使用基準
JRJS 0008	2017	A級継手性能評価基準
JRJS 0009	2016	A級ガス圧接継手の試験方法及び判定基準
JRJS 0010	2016	A級溶接継手の試験方法及び判定基準
JRJS 0011	2017	A級機械式継手の試験方法及び判定基準
JRJS 0012	2015	鉄筋SD490のガス圧接技量確認方法(案)